

公民館だより

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年2月15日発行【第327号】

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



1月27日（日）、吉崎地区・吉崎自治会の平成25年度通常総会が開催されました。

雪が降り足元の悪い中、来賓の橋本あわら市長、向山市議会議長、笹岡県議会議員、丸谷市議会議員よりご祝辞を頂いた後、議事に移りました。

難産の末決定した「新執行部」の運営により、平成24年事業報告、決算報告、平成25年事業計画案、予算案などが審議され、いずれも原案通り可決されました。

その後、吉崎地区にある各種12団体による事業報告もなされ、区長会を中心とした吉崎地区の活動状況を垣間見る事ができました。

高齢化と過疎化の進む吉崎地区では、ライフスタイルや価値観の多様化なども伴い、地域が抱える問題点が目白押しです。現況を十分に把握し、限られた財源のもとで大変だとは思いますが、無駄をなくし、事業の推進と問題点の解決策を探るとともに、未来へつながる地域づくりをしていく必要性があります。住みよい町を創るために、住民が意見を出し合い、知恵を絞り、協力し合うことが必要です。美しい自然と歴史と文化のある吉崎地区はあわら市の宝物です。地区住民が胸を張ってふるさと「吉崎」をPRし、幸せを実感できる「心あたかいまちづくり」には、役員を中心とした住民全員の協力が不可欠です。そんな事を考えさせられる「吉崎地区総会」でした。



2月22日（金）；吉崎老人クラブ総会；午前10時30分から

歴史ある「左義長」を福井ケーブルテレビが取材に！



1月13日（日）、正月飾りやお札などを燃やし、家内安全・無病息災を願う吉崎地区小正月の伝統行事「左義長」が行われました。

春日神社拝殿で神主により祈禱を受けたあと、神火がつけられました。

火の勢いが強くなると、周りを取り囲んでいる人たちが持ち寄った正月飾りや書初めなどに火が燃え移り、炎が勇壮に天に舞いました。住民らは燃え上がる炎を見つめながら、無病息災や家内安全を祈り、甘酒やお神酒で暖を取っていました。

正月の書初めを燃やし、灰が高く高く舞い上がると字が上手になると言われ、この火で焼いたお餅を食べたり、燃え上がる藁灰やケムリをかぶると、今年一年無病息災で過ごせるという謂れがあります。

このような歴史ある風習を、子ども達に知ってもらおうと共に伝えていく事は本当に大事です。今年は、福井ケーブルTVが取材・撮影に訪れ、エリアニュースの特集版で放送して頂きました。新氏子役員の準備の様子から歴史を大切にしている気持ちが捉えられていて、素敵な番組になっていました。

うっかり見逃した人、番組の録画をし忘れた人、もう一度見たい人は、吉崎公民館で視聴することができます。是非ご覧下さい。

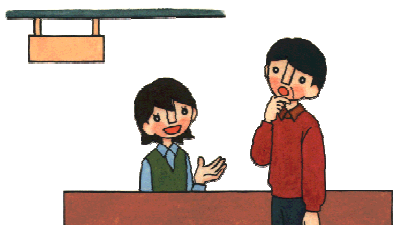
『 確 定 申 告 の 季 節 で す ！ 』

【お知らせ】 所得税と市・県民税の申告は、3月15日までにいきましょう！

あわら市広報「1月号」にも掲載されていますが、平成24年分の所得税の確定申告と市・県民税の申告相談が、あわら市役所1階101会議室で開催されます。地区によって日程が指定されており、吉崎地区は2月22日（金）、浜坂地区は2月28日（木）となっています。混雑緩和のために指定はされていますが、都合がつかない場合は、2月18日（月）から3月15日（金）の期間中の平日なら、申告相談にのって頂けるとの事です。



昨年から、年金等の収入が400万円以下で、その他の所得が20万円以下の人は確定申告が不要となりましたが、年金等から源泉税が引かれており、医療費等の控除が別にある場合は確定申告をすることにより所得税が戻る場合があるそうです。所得税が戻らない場合でも、医療費等の控除を申告することで市・県民税の額が少なくなることもあるそうですので、それ以外でも、疑問に思ったら市役所税務課へ相談してください。（☎73-8011）



毎年、申告期限が間近になりますと会場が大変混雑します。
十分な相談時間が取れなかったり、長時間お待ちいただくことになる場合がありますので、申告は出来るだけ早めに済ませましょう。

『ボーリング大会』

2月2日（土）、吉崎体育協会主催のボーリング大会が、WAVE 40（福井市）で開催されました。

多くの方にご参加いただき、親睦交流と健康増進を図ることを目的に実施している大会です。

今回は体協役員を中心に、大人・子供合わせて27名が参加して、和気あいあいと親睦を深め合っていました。ストライクでは歓声が沸き、ガーターではため息が出て、結果はともかく大変賑やかな楽しい大会になり盛況に終

えることが出来ました。残念ながら、年々参加者が減ってきていますが、子供から大人まで、交流のできる数少ない場なので、コミュニティの醸成のためにも続けていっていただきたいイベントです。

運営に当たった体協役員の皆様、お疲れ様でした。

■結果発表（敬称略）

	男子の部
1位	栗原 佳典
2位	吉村 和禎
3位	大家 崇博

	女子の部
1位	湯谷なつ紀
2位	湯谷 暁美
3位	岡田由利亚

	子供の部
1位	岡田凌太郎
2位	吉村 和真
3位	湯谷 茉祐



『吉崎地区青壮年団総会』

2月3日（日）、吉崎青壮年団の総会が吉崎公民館で行われました。

来賓として出席された、古田一孝吉崎地区区長会長が、「過疎化の進む吉崎地区においては、多大なご負担になるとはいえ、青壮年団の力無しでは吉崎地区の行事がなにも行えず、是非とも各処での協力をお願いします。」というお言葉も頂き、辻裕治郎新団長の下、団員が減り続ける中ですが、今年一年も昨年同様の活動を行っていく事で総会の議事が進んでいきました。

また、前団長の大家秀男氏に記念品を贈呈するとともに、昨年の反省を議論する場として、参加者全員で懇親会を開催し、大盛況のうちに全日程を終えました。



『消防出初式』

1月12日（土）、午後1時より吉崎地区・浜坂区の区長をお迎えして、吉崎と浜坂の消防団が合併「あわら市消防団・第3分団」となり、始めての出初め式は消防力の強化をより実感できる頼もしい出初め式となりました。

総勢18名が参加して、消防コミュニティセンター駐車場より鹿島の森に向かっての放水では、団員はきびきびとした動きで放水し、日頃の訓練の成果を披露しました。また、無火災、無災害を願い、平常時、非平常時の区別なく地域に密着して地域の防火防災に目配りを欠かさない、そういう気持ちと行動を身に付けた団員の方々が近くに居てくれることが大きな安心と信頼です。

消防団の皆さん、本年も宜しくお願いします。



『西超勝寺に行ってきました！』

昨年行った「御文講座」の関係で、福井市藤島にある「西超勝寺」まで行ってきました。

あわら市吉崎は、浄土真宗本願寺第8代法主「蓮如」が北陸布教の拠点とした場所で、それは1471年の事です。超勝寺の開創は1392年で、本願寺第5代法主「綽如」の時です。蓮如さんが比叡山の山門衆に京都を追われ、この北陸の地に流れ着いた時、この藤島超勝寺や和田本覚寺などの助けを借りていたという事です。蓮如さんが吉崎を去り、加賀一向一揆全盛のころ、この超勝寺をはじめとする真宗門徒達は、朝倉勢によって越前を追い出され、やむなく加賀に拠点に移しました。そして「越前」に戻る機会を伺いながら、何10年という戦いが繰り広げられたのです。しかし、織田信長の出現により朝倉勢と一向一揆勢が手を結ぶこととなり、門信徒たちは越前に戻ることを許されますが、1570年、柴田勝家によって越前平定がなされ、ことごとく寺が焼かれ、戦国時代の終焉を迎えます。豊臣秀吉の天下統一を経て、本願寺は徳川家康の戦略によって東西に分断され、この歴史ある超勝寺も東西に分断されてしまったのです。

この超勝寺で書かれた蓮如さんの御文を、先般行った講座で取り上げさせてもらいました。また蓮如さんの第19子の蓮周尼が嫁いだ場所でもあります。ここには、「鹿の子の絵像」という蓮如さんの子どもの頃の絵も伝わっていて、吉崎とは本当に縁の深い場所だと感じました。(山本)

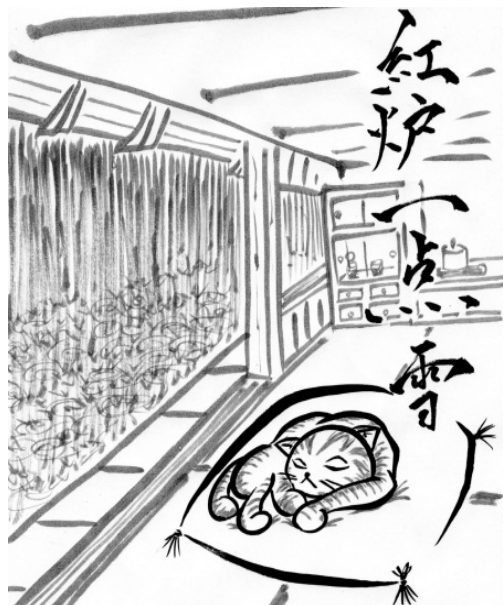


【今月のことば】紅炉一点雪（こうろいってんのゆき）

初釜によく見られる「軸」です。

意味は・・・赤々と燃える炉に一片の雪が舞い降りても、それは瞬時に跡形もなく消えてしまいます。お茶にあてはめれば、邪念もかき消し、ただただ無心にお茶を立てることとなるのでしょうか。

「死」を受け入れる事を表わした禅語なのですが、修業を積んだ僧（悟りを開いた人間）は、どんな事が起こっても、紅炉の上の雪のように、跡形もなく消し去る事ができるという事だそうです。



また、川中島の上杉謙信との戦いにおいて武田信玄が放った言葉としても有名であり、「死するも生ずるも、動じぬ態度で振り下ろされた太刀を払いのけた」と言われています。

はたまた「燃える志あらば、小さなことになんら心煩うこともない」とも解釈できます。

『動じない心』、『慌てない対処』、修業を積むという事は、そのような事のできる人間になるという事です。この挿絵、外がどんな嵐でも動じない「ネコ」を描いたそうです。何も考えずに生きられるという事は、幸せな事なのかもしれません。

(挿絵；小坊主つばめ)



シリーズ「この人に聞く」10

吉崎地区区長会会長 古田 一 孝

「自主防災について」

私は、吉崎に暮らす皆さんにとって、自主防災の日々の心構えと備えを怠らない事が、皆さん自らの命を救い、吉崎を守る事になるのだと思います。

昭和23年の福井大震災の様な事が再び起こり、いつ又甚大な被害を受けることになるかも知れません。

その時、自分や家族、隣人や吉崎の人々、どなたの命も欠ける事のないように、少しでも出来る事をやらなければならないと思っています。

仮に不幸な事態に遭遇しても、私たちは必ず再起するという基礎体力を持つことが必要だと思います。

高齢化の進む吉崎の中であって、大きな問題ですが、お互いの助け合いによって、皆さん全員の力で基礎体力を持ちましょう。

それを確かめ合うのが防災訓練です。

お互いの無事と、欠けている人の無事の確認をするという防災訓練を続けることが、結局吉崎を守る基礎体力になるのではないかと思います。

自主防災が自分の命、吉崎の里を守ります。

**駐在さん、だぁ～い好き！ -その8-**

●スマートフォンを検討中・使用中の保護者の方にお願ひがあります。

スマートフォンは、携帯電話回線のほかに、高速通信が可能な無線LAN回線を利用でき2つの回線のどちらでもインターネットに接続します。

しかしながら、インターネット上には、性、暴力、自殺、薬物、ギャンブルなど、子どもに見せることが好ましくない情報もあるほか、コミュニティーサイト等では性的な目的などで子供を狙う大人もいるなど様々な危険が潜んでいます。

2つの回線にはそれぞれ適確にフィルタリングを設定して、子供が犯罪にあうことを防止しましょう。

※ 注：フィルタリングとは、有害なサイトへのアクセスを制限するサービスです。

詳しくは携帯電話各社、又は販売店などにお問合せください。

**『あなたが写っている写真があるかも！』**

只今、吉崎公民館玄関ホールでは、「公民館だよりの写真から」と題し、平成24年度1年間の写真を抜粋して掲示してあります。是非一度、ご覧になって下さい。

尚、ご自分が写っている写真をご希望の方には無料でお譲りいたします。（サイズはL版）。

「もしかしたら、あなたが写っている写真があるかも！」

詳しくは、吉崎公民館（75-1205）まで、お問い合わせ下さい。

シリーズ The 時代 『吉崎の変遷を辿る～明治時代以降～』

その2 (吉崎の郷土誌より抜粋)

私たちの吉崎浦も、前回の第十四大区二十
五小区制で戸数は194戸となったが、明治
22年の吉崎村は、次のように8カ村で戸数
も970戸と増加している。

当時の吉崎村は、吉崎浦・北潟浦・浜坂浦・
城新田村・城村・波松村・番堂野村・赤尾村
(以上8カ村970戸)で、このように北潟
方面の一带を含めて、大字吉崎の名をとって
吉崎村と名づけ、初代の村長には北潟浦の嵯
峨太次郎が就任したが、その後さらに明治3
0年3月施行の吉崎村は北潟村を分離して今
日に至っている。しかし、郵政関係はその後
も引き続き吉崎局の集配下であって、昭和7
年4月に北潟局へ移管されるまで、北潟と
の交流は続いていた。



吉崎村成立以前の村役場は、北潟と合併していた関係から、明治22年から30年2月頃まで
北潟にあり、分離後は、吉崎小学校の一室を使用していた後、別棟の一室を設ける事になった。
ところが、昭和23年の福井地震で倒壊したので、校舎の前に道を隔てて役場庁舎を新築。昭和
29年の金津町との町村合併後は、そこは公民館として使用することになった。その後老朽化に
伴い、その南隣の吉崎小学校の南に「蓮如の里会館」を新築して平成10年4月23日に落成
式を行い現在に至っている。

さて、明治時代の吉崎浦人たちの生活はどうであったか。

この事については、公民館の書棚から発見された「吉崎村是」に明快に書いてあった。この「吉
崎村是」は、明治42年頃に編纂されたもので、役場当局の愛村の結晶ともいえるべき資料である。

この「吉崎村是」を見ると、私たちのふる里吉崎浦は、江戸時代末期から明治中期頃まではよ
く栄えていた。そして明治37年38年の日露戦役の大勝により、国民は戦勝気分には浮かれて奢
侈軽薄となり日本の将来が憂慮される状態になった。

そこで、吉崎村でも現状を把握して明日の吉崎村を作りあげねばならないと考え、この基本方
針の実現のために、当時の和田智三郎村長を調査主任に、古井六左工門助役、石塚信次郎収入役、
浅田与三郎書記を調査係として、笠谷喜八、泉宗三郎、織田末吉、藤田善太夫、田藻喜三松の5
人の村会議員を調査員とし、更に有志、岡田喜右衛門、浅野茂吉、末富北洲の3名を加えた村政
の中心人物が、明治41年10月1日から翌年
の9月までの1年がかりで「吉崎村是」を定め
たのである。

「吉崎村是」は既に述べた通り、日露戦争後の
逸脱した戦勝気風から立ち直るための基本方
針であるが、当時の吉崎村は重大な危険に立っ
ていたのである。その危険とは何であったのか。

村是には、「吉崎浦について、古来から継体
天皇の伝承をはじめ、中世に於ける蓮如上人に



かわる由緒ある土地であり、また風光明媚で自然環境に恵まれた風土であるが、その反面土地は狭く農業では生活が困難なので、浦人は古くから湖面のカキ塚、赤貝などの養殖を唯一の生業とし、また北前船で運ばれてくる肥料や商品を取扱って、商業を営み東西両別院の門前通りは商店街地を形成していた。」と記している。

ところが、寛政元年（1789）に、隣の大聖寺藩が吉崎から鹿島に通じる鹿島新道を造成したので、吉崎浦の繁栄に支障をきたすに至った。

即ち鹿島道の新設によって、大聖寺川の流路が変わり湖底に砂泥が堆積して堀切港（塩屋港）への船の出入りが困難となり北前船に頼っていた吉崎浦の商業が不振になった。その上、海水の浸入を防いだのでカキ塚や赤貝などの養殖が出来なくなった。

この商業、漁業双方の打撃のため浦辺の収入は激減し浦人は困窮して道路の復旧を福井藩に願ったが何の効果もなく、吉崎浦は衰微して離村する者が多くなり戸数も減少していった。

加賀藩の行った「鹿島新道の造成」は、全く吉崎浦の大きな痛手となったのである。

【吉崎再発見】 35 ～吉崎周辺の鳥類～

吉崎とその周辺は、北潟湖、鹿島の森、日本海、浜坂砂丘、塩屋海岸、大聖寺川河口、福良池、そして加越台地と変化に富んだ素晴らしい自然に恵まれています。

近年は、湖の汚濁や周辺のゴルフ場開発が進み自然環境は悪化していますが、台地の周辺部や谷沿いには、まだ雑木林を中心とした自然がわずかながら残されています。

海、水辺、台地、人里などで、一般に1年中よく見られる鳥、春から夏、秋から冬にかけてよく見られる鳥などは72種以上で多くの野鳥が観察できます。

珍しいものとしては、片野鴨池と坂井平野を往復する千数百羽のガン類（10月上旬～2月）、カモ類・白鳥類（9月～3月）、オオワシ・オジロワシ（1月～2月）、鹿島のカラスのねぐら、弁天岬のイワツバメのコロニー・ウミウなどがあります。吉崎周辺は恵まれた自然の中、図鑑に出てくる鳥類が年間を通じ観察ができます。



『新規受講生募集』

4月から始まる新年度各教室の受講生をいち早く募集致します。（定員がありますのでお早めに！）

★「パソコン入門教室」 毎週火曜日全4回 4/9、午後1時30分から

★「ソーイング教室」 月2回 第1・3月曜日 午前9時30分から

他に、パッチワーク教室、カラオケ教室、詩吟教室が自主講座として引き続き行われます。夜間の実践パソコン教室は5月からです。

公民館は皆さんの学習の場所でもあり、コミュニケーションの場所です。どしどしご利用下さい。尚、ご希望の講座などがありましたなら、お気軽にお問い合わせ下さい。

※お問合せ先 吉崎公民館 ☎：（0776）75-1205



【ふるさとクロスワード】

*答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(※切は平成25年3月10日) 先月号の回答は「シンラン」で、Aの「浄土真宗」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、ある言葉にして下さい。その言葉と一番関係のあるものは、下の3つのうちどれでしょうか？

(A ; 音譜、B ; 豆腐、C ; 祖父)

1	7	9	12	14		18
2			C			
3			13		17	
4	A	10		15		
		11	B			
5	8			16		
6				D		

【よこのヒント】

- ① ; 1471 年、吉崎に来た蓮如さんを助けた浄土真宗のお寺は、和田本覚寺と藤島〇〇。(本紙 4 ページを参照してください。)
- ② ; 遊覧・娯楽などのために設備を整えた場所。
- ③ ; 昆虫のサナギが変態して成虫となること。
- ④ ; 室外の空気のこと。「石油ストーブを長時間使う時は、たまには〇〇を入れましょう！」
- ⑤ ; 水・涙などを溢れ出させること。「涙を〇〇」とか「机の上にインクを〇〇」とか言います。
- ⑥ ; 打って粉々にする事。「夢を〇〇」と使います。
- ⑪ ; 相撲の負けにならないもので、相手を釣り上げたまま土俵の外に足を踏み出す事。
- ⑬ ; うまが合うという事。「今日の飲み会楽しかったあ。年も違うし仕事も違うし、〇〇仲間ばかりだったから」
- ⑮ ; ゴルフ用の木頭のクラブ。1 番はドライバー、3 番はスプーン、5 番はクリーク・・・いろいろあります。
- ⑯ ; 夜間に降る露。

【たてのヒント】

- ① ; 小学校を卒業すると次は〇〇へ通う事になります。
- ⑦ ; テレビアニメから映画化された「〇〇人間ベム」。亀梨和也、杏、鈴木福の3人が演じる、ベム・ベラ・ベロの親子は「早く人間になりたいー」という望みがあります。
- ⑧ ; お墓のある場所。
- ⑨ ; 下の反対。
- ⑩ ; 駅・街角などで新聞・雑誌類を売る小さな店の事で、フランス語で kioskue と書きます。
- ⑫ ; 心のはたらき。心のはずみ。気持ち。「〇〇一転、仕事を変える」などと使います。
- ⑭ ; 自分に〇〇があれば・・・などと思う時があります。地震が起こる前に知っていれば・・・とかいう能力の事です。
- ⑰ ; 隣の新婚さん、いつも〇〇で・・・。
- ⑱ ; 親鸞聖人は法然上人の弟子ですが、法然上人が宗祖である仏教の一派は〇〇。



おひらせ

3月 2日(土) 吉崎小学校思い出の会 11時から

3月 3日(日) 吉崎春日神社清掃奉仕 (春日区・新用区)

3月15日(金) 吉崎小学校卒業式

吉崎地区総会での質問から・・・

※ 吉崎・浜坂合同防災訓練は・・・？ 9月29日(日) AM6:30~AM8:30

※ 吉崎地区の下水道工事は・・・？ あわら市下水道課に問い合わせたところ、平成25年度は開田橋などの取り付け工事で、平成26年度から、国道305号線、県道吉崎線の主要幹線。翌平成27年度から各市道工事に入り、その後供用開始となる予定です、との事です。